特定非営利活動法人
ぷくぷくばるーん

ぷくぷくつうしん

ばるーんで遊ぼう！

病院の子供たちと家族に笑顔を届けます

Ｎｏ．３７　春号　2018.4 発行

発行責任者：加藤　剛二　　編集：ぷくぷくばるーん編集委員会

ぷくぷくニュース　Ｎｏ．１

毎日新聞大阪社会事業団様より「小児がん制圧募金」の配分先に選考していただきました

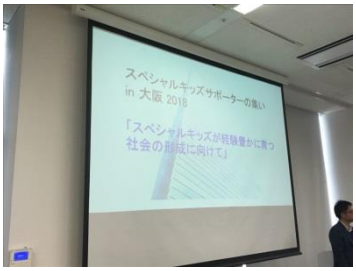
3月8日（木）、毎日新聞大阪社会事業団様の「生きる　小児がん制圧キャンペーン」の2017年度「小児がん制圧募金」の贈呈式に大竹と祖父江が出席しました。

毎日新聞大阪本社で行われた贈呈式では、社会事業団、毎日新聞の方々や他団体さんと、活動内容はもちろん、楽しいことや大変なこと、困っていることなども色々と意見交換をすることができました。

20年以上も活動している団体さんや、とても高い志をもって邁進している団体さんとの意見交換は、とても刺激を頂きました。このキャンペーンに募金してくださった皆さんの思いに恥じない活動をしていきたいと、心から感じました。（大竹）

毎日新聞大阪社会事業団では、随時「小児がん制圧募金」を受け付けています。
〒530－8251（住所不要）毎日新聞大阪社会事業団へ
郵送か郵便振替（00970・9・12891）で。

スペシャルキッズサポーターズの集い　in大阪2018 今年も参加しました



2月11日（日）、大阪・宝塚大学大阪梅田キャンパスで開催されたスペシャルキッズサポーターズの集いに参加し、全国の多くの団体さんと交流しました。大竹はスタッフとして参加しました。

スペシャルキッズサポーターズとは、様々な面から医療的ケアが必要な子どもたちを支援する人、団体です。
小児病棟の遊びのボランティア団体だけでなく、ファミリーハウス、レスパイト（※1）支援団体、患者家族団体、学生団体など50を超える活動紹介や様々なワークショップ、講演などがあり、ぷくぷくばるーんはポスターセッションもしました。

ワークショップでは、アート、工作、スヌーズレン（※2）など、実際に小児病棟で行われている様々なイベントを体験することができ、とても有意義で勉強になりました。こうして全国から同じ志を持つ団体さんが集まり、刺激を得ることができるイベントに参加できることは、とても良いですね。（大竹）

（※1）レスパイト：　在宅介護などをしている家族が、一時的に休息を取れる支援
（※2）スヌーズレン：　心地よい感覚刺激（光、音楽、触感、香りなど）によりリラックスしてもらう活動。重度の知的障害者の人々との関わりの理念としてオランダで生まれました。

元患者家族で、現在はぷくぷくボランティアとして活動している宮崎さんです。

娘と共に闘病を乗り越えて

宮崎恵梨

6年前、当時3歳の娘が脳腫瘍の治療のため約9ヶ月間入院しました。
いつもニコニコしているねと皆に言われていた娘から笑顔が消え、痛みで無気力となり、繰り返される採血や検査などに怯えていた入院当初でしたが、手術を終え長い抗がん剤治療に入る頃になると落ち着いているときには遊ぶ意欲が沸くようになり、病棟内のプレイルームへ行くことを毎日の楽しみにして、病院での生活が娘の日常となりました。
母である私も付添宿泊し、日々を病室で暮らしている中で、娘の遊びは幼い年齢もあって折り紙や工作、DVDなどのごく限られたものであるためどうしてもマンネリになり、それに付き合う私には根気が必要でした。
酷な治療と閉ざされた環境を我慢している娘には、なによりも笑顔でいさせてあげられるようにしたいのに、自分の不甲斐なさで苛立つこともありました。そんな状況において、保育士さんやホスピタルクラウンさんなどの訪問で娘が喜ぶ様子を見るのは自分にとっても癒しになり、先の見えない闘病生活を続ける活力になっていたことをよく覚えています。
主治医をはじめ様々な方が娘が笑っていられるようにいつも手を尽くしてくれ、集中治療室の看護師さんが医療用手袋を風船のように膨らませて動物の顔を描いて下さったときには驚きとともに感謝しました。
このような日々を経験して、子どもにとって遊びはコミュニケーションであり、心の栄養なのだと痛感しました。おかげで今も娘は人と話すことが大好きで、笑顔で小学校に通っています。
大きな治療をした影響が身体的にも精神的にもあり、色々と気を揉むことばかりですが、この子の笑顔を何としても守ろうと決めています。
そして、あの頃の娘と私のような入院生活を送っている方々に、今の私が何か出来ることはないだろうかと数年間思い続け、入院中に遊んでいただいたことのある「ぷくぷくばるーん」のblogを見て昨年秋に活動参加を申込みました。毎月のテーマとして用意されるバルーンは、子どもはもちろん大人にとっても少し難しそうだけどやってみたいと思わせてくれるものばかりで、自宅で娘を相手に練習し、病院での活動の時は参加される親子さんと一緒にドキドキしながら作っています。バルーンを自分で作れたと感じてもらえるようにお手伝いをして、素敵なものが出来上がると皆さんとても楽しそうです。子どもが楽しんでいると親は嬉しくなり、そんな親をみて子どもも嬉しくなる、そんな瞬間に度々立ち会わせてもらえてとても有り難いです。
入院中の親子さんが笑顔になるよう楽しいバルーンの時間を提供し、またその笑顔からは見えない様々な気持ちにも寄り添いながら、これからも活動に参加したいと思います。そして、定期的な病院訪問を10年も継続してこられた「ぷくぷくばるーん」のスタッフの皆さんの熱い想いに、心からの敬意を。

ぷくぷくニュース　No. 2

（一社）ランフォーピース様　「病院の子どもたちに夢を届けるプロジェクト」　@名古屋第一赤十字病院

12月12日（火）、一般社団法人ランフォーピース普及協会様「病院の子どもたちに夢を届けるプロジェクト」より、今年は第一日赤の子どもたちにプレゼントを頂きました。
女の子には、名古屋ウィメンズマラソン完走のティファニーネックレスを、男の子には全国のマラソン大会の完走メダルを。女の子のネックレスはもちろん、いろんな種類のメダルに、子どもたちも親御さんも大喜びでした。また、協会の方のマラソンクイズや、世界中のいろんなマラソンの話など（サハラ砂漠のマラソンとか！）、みんな興味津々で楽しみました。（大竹）
ランフォーピース普及協会：　http://www.run-walk.me/

ぷくぷくボランティア　全体ミーティング開催しました　@名古屋第一赤十字病院

2月18日（日）、年一回のボランティア全体ミーティングを行いまいした。
全体ミーティングは、普段の活動では会うことのないボランティア同士の交流と、活動スキルの向上を目的としています。
今回は、グループで活動時の困りごとのシェア、その解決法を話し合い、グループごとに発表しました。
さすが、みんなとても和気あいあいと笑顔で話し合っていました。
また、大竹が活動でも普段でも役立つ「笑顔のコミュニケーション」について、お話しました。　（大竹）

ぷくぷくばるーんの活動を通して

社会人1年生　伊藤れな

はじめまして。伊藤れなです。
この春大学を卒業し、福祉事業団として障害児療育に携わることとなりました。
私は、大学に入学した当初からぷくぷくばるーんに入会し、多くの子どもたちや大竹さんをはじめスタッフの方々と楽しく活動をし、様々なイベントにも参加させていただきました。
元々、子どもと関わることが大好きで将来は子どもの成長を支える人になりたいと思っており、子どもに関するボランティアを探していた時にぷくぷくばるーんと出会いました。
皆の笑顔を大切にしているところに魅力を感じていたのが最初の印象です。
この4年間を振り返ると、今後、私が対人援助の仕事をするにあたって大切にしなければならないと感じることを学ばさせていただきました。普段の活動では、名鉄病院やあいち小児医療センターを中心に訪問しましたが、病院によって雰囲気が様々でした。そして、色々な子どもたちにたくさん出会いました。
元気で活発な子とは一緒に楽しく遊べましたが、中には入院生活に不安を感じているのか、風船が怖いのか、中々活動に参加出来ない子もいました。私がこの活動を通して1番学べたのは、そんな子どもたちの気持ちに少しでも寄り添ってその子と一緒に笑顔になれるために、その子が楽しめるように自ら動くということです。
例えば、いきなり活動を始めるのではなく、まずは少しでもお互いのことが分かるように自己紹介し合って、好きなものについてや、その月につくる作品のテーマに関する話題から会話をするように心がけることが大切です。風船が怖い子に対しては大丈夫だよと声をかけることで、安心して 少しでもバルーンが楽しめるように配慮しました。 少しずつ距離が縮まるにつれて 見せてくれるようになった笑顔はとても印象的でした。
改めて、ぷくぷくばるーんとは皆で楽しい時間を共有し合い、笑顔の輪を広げられるところが本当に魅力的だと応えた心の底から実感しています。
今後のお仕事でも、ぷくぷくばるーんでの経験を大いに活かしつつ、子どもたちと楽しく過ごすことを忘れずにして 障害児療育に貢献していきたいと思います。
そして、ぷくぷくばるーんの益々の発展のためにも 何かの形で貢献していきたいとも思います。

ボサノバクリスマスライブ　@名大病院　小児外科・内科

ぷくぷくニュース　No．3

12月21日（木）、恒例のアメリアさんによるボサノバライブでした。
クリスマスということで、いつものブラジルのリズムに加え、クリスマスや冬の曲も。
今回は高校生ドラマーや、サンバを踊って下さる方も一緒に。いつもに増して、とても賑やかなライブとなりました。
最初に小児外科のプレイルームで、その後小児内科のプレイルームで大勢の子どもたちと親御さんに楽しんでいただきました。
アメリアさんのライブは、聴いて楽しむだけでなく、いつもみんなを巻き込んで楽しませてくれます。
今回もみんな身体全体でリズムをとって、とてもいい笑顔で楽しんでくれました！　（大竹）

愛知心臓病の会　クリスマス会にてバルーン教室開催しました

12月16日（土）愛知心臓病の会主催のクリスマス会（於コミュニティーカフェかかぽ）でイベントとしてバルーンアートをさせて頂きました。子ども15人、大人15人総勢30人でクリスマスリースを作成しました。初めてのバルーンアートで苦戦しながらも終始笑顔でワイワイと賑やかなイベントとなりました。イベント終了後は会員の皆さんと一緒にランチをしながら色々なお話を聞かせて頂くことも出来ました。病気を抱えながらも前向きに日々を過ごしていらっしゃる方々ばかりでとても感動しました。後ほどイベントの感想まで送って頂き、参加された皆さんに喜んで頂けたようで、とても嬉しく思います。素敵な会の皆さんと出会えたことに感謝です。

（永田）

三味線音あそび　@名鉄病院

12月1日（金）、角掛桂子さんの“三味線音遊び“でした。
たくさんの三味線を見せて、三味線の構造など分かりやすく説明してくださったり、子どもたちに自由に触らせてくれたり。実際に弾かせてもらい、子どもたちは興味津々。演奏は「ゆきやこんこん」など。三味線で「ゆきやこんこん」はびっくり！
また、演奏の合間には雪だるまの工作。シールやお絵かきをして雪だるまの飾りを作りました。そして、じょんがら節の演奏なども。とっても心に沁みいる音でした。
最後にみんなで「ゆきやこんこん」を三味線と合わせて合唱しました。
三味線音あそびがあるといことを聞きつけて、同じ病棟のお年寄りの患者さんも3人聴きにきてくれました。少し早いクリスマスプレゼントになったんではないでしょうか。

（祖父江）

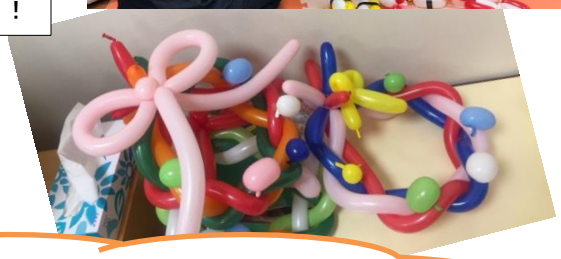
上手に作れたでしょ？！
とっても上手に作れました！

たくさんのお友達とプレイルームで一緒に作成！
楽しいですね♪

1月13日
3月10日
愛知医大病院です

12月12日
1月9日
2月13日
3月13日
名古屋第一日赤です

大量のネタとしゃり作り！！



「ばるーんで遊ぼう！」毎月1回ぷくぷくが来るよ！

ケーキ美味しいかな？！つんつん

クリスマスが過ぎちゃったので鏡餅！

箱に入りきらないくらいの大量のお寿司！！

12月～3月

一緒に遊んだ子どもたち・ご家族（のべ人数）

プレイルーム　子ども81名 / 大人71名
ベッドサイド　15名
個室他　2名　計98名（子ども）

活動したボランティア

のべ44名（病院での活動のみ）

使用したバルーン

のべ815本（病院での活動のみ）

12月21日
2月22日
名古屋大学附属病院です。

12月26日
1月23日
3月1日
3月27日
名古屋掖済会病院です

普段見たことのない三味線!
初めての体験でした♪

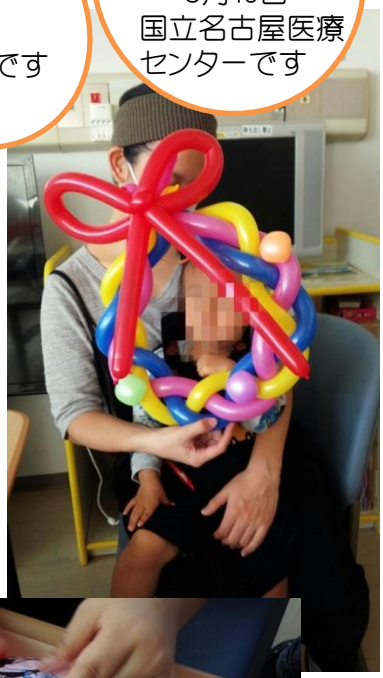
サポーターのみんなが
優しく教えてくれます！

12月16日
1月20日
2月17日
3月10日
あいち小児
保健医療総合
センターです

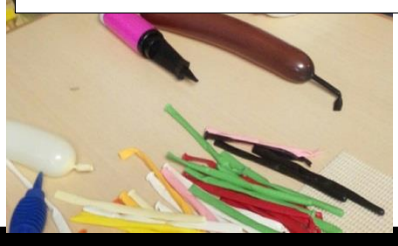
12月1日
1月12日
2月2日
3月2日
名鉄病院です

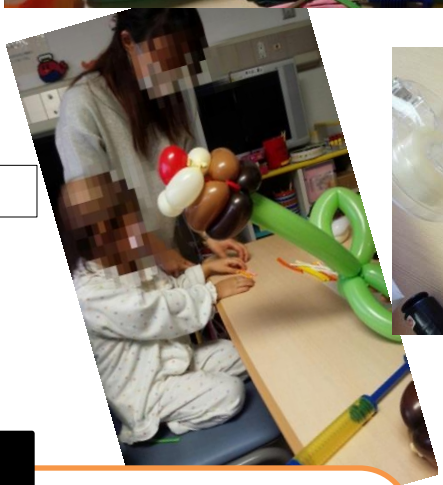
12月21日
1月18日
2月15日
3月15日
国立名古屋医療
センターです

お兄さんもサポーターと
して頑張ってます！！



ケーキのお花ができちゃった♪





美味しそうなお寿司が出来上がり
ました♪
たくさん召し上がれ！

ぷくぷく　スケジュール

名鉄病院	…	毎月第1金曜日　14:00～
名古屋第一赤十字病院	…	毎月第2火曜日　15:00～
国立名古屋医療センター	…	毎月第3木曜日　15:00～
名古屋掖済会病院	…	毎月第4火曜日　13:30～
あいち小児保健医療総合センター	…	毎月第3土曜日　10:30～
名古屋大学附属病院	…	隔月第4木曜日　14:00～
愛知医大附属病院	…	隔月第2土曜日　10:30～

見てみて聞いてみて言ってみて♪

「エコキャップ活動」

NPO法人
エコキャップ推進協会
ECOCAP

※団体HPからロゴマークをお借りしました

みなさんは「エコキャップ運動」をご存知でしょうか？今や認知度が高くなってきていますよね。
神奈川県の女子高生が「ペットボトル本体はリサイクルされているが、蓋はゴミに出すのがもったいない。何かできないか」と言っていたことが元で活動が始まり、集めたキャップの売却利益の寄付先を検討した結果、ポリオワクチンを開発途上国へ贈るために寄付することとし、「地球環境問題」、「資源活用」、「国際貢献」の3つを活動テーマに2006年1月に任意団体「エコキャップ推進全国連絡協議会」を設立。2008年にはNPO団体として認証され、今や多くの団体が活動しています。
一方で、キャップ交換収入より高い輸送費など、様々な問題点が指摘されている面もあります。
誰かが誰かを思い活動する。活動する1歩、その1歩が素晴らしい事だと思いますし、大きな歩みだと思います。
活動しなければ何も変わらないし、変える力すら生まない。

問題はまだあるが、みんなの思いが集まれば　良い方向に向くのではないでしょうか。

NPO法人エコキャップ推進協会　　http://ecocap.or.jp/　　西山貴洋

ぷくぷくからのお知らせ

ぷくぷくばるーん10周年記念イベント

日　時：　2018年11月11日（日）
場　所：　名古屋第一赤十字病院　　内ヶ島講堂

詳しい内容など、現在コアスタッフを中心にミーティングを重ねています。
でも、このイベントで伝えたいことは「感謝」
10年間活動してくることが出来た感謝の思いを、今まで関わってくれた方々に心を込めて伝えるイベントにしたいと思います。
みなさん、今から予定を空けておいてくださいね！

ぷくぷくばるーん2018年度　運営スタッフ紹介

大竹由美子

今年は10年の節目、今まで以上に頑張ります！

祖父江　薫

名鉄病院と会計を担当。やりくりに日々奮闘しています。

橋本ゆかり

披済会病院を担当。気負わず参加してくださいね！

西山貴洋

皆が笑顔になれることが楽しいですね！

永田あおい

スタッフ3年目。初心を忘れず、頑張ります！

犬塚由美子

一緒に楽しみましょう！よろしくお願いします。

丸山由紀

広報としてみんなに知ってもらえるよう、頑張ります。

運営スタッフ つれづれ日記

親子で楽しみたい！ボルダリング

すっかり春ですね、暖かくなりました。
満開の桜も早いところでは散り始めていますが、毎年ぷくぷくの4月は桜です！今年も満開の桜を届けましょうね！
さて、温かくなってくると、冬の間縮こまっていた体を動かしたくなりますよね？！
ボルダリングというスポーツを知っていますか？手と足を使って壁に設置してあるホールドと呼ばれる出っぱりを登っていくのですが、もう体験した方もいらっしゃるかもしれませんね。
以前からわたしも行ってみたかったのですが、最近、ようやく機会があって体験して来ましたよ！！初級コースは垂直な壁なのですが、中級上級となると壁も傾斜してたり、どう登るの？！とゆう設定になっていて、見てるだけでもドキドキハラハラします。
もちろん初心者のわたしは初級をクリアするのがやっと、、でしたが、日常生活では動かさない体の部分が伸びたり縮んだりしてすごく気持ちよかったですよ。
特に準備するものもなく、名古屋市内や郊外にもいくつか施設がありますので、新しいことをやってみたいなと考えていたら、ぜひ！行ってみてくださいね。　（橋本）

はちきん便り　26　　西原　正子

高知市の中心を流れる鏡川は、その昔、坂本龍馬が幼い頃、姉の乙女姉やんに泳ぎを教え込まれた川として知られています。乙女姉やんはひ弱で泣き虫だった龍馬を強くたくましく育てあげ、歴史に名を遺す豪傑を世に送り出した立役者です。この時期、鏡川のほとりの桜並木は桜吹雪を散らせ、春爛漫の装いとなっています。

今年に入って娘は2回目の入院です。肺炎の症状があったことから入院治療が始まりました。外は桜がこんなにまぶしいのに病室からは見えません。もっとも今は何を見ても晴れない気分ではありますが…

肺炎治療のために使った抗生剤が合わなかったのかアレルギー反応を起こし、全身に猛烈な痒みが襲ってきました。一晩中痒みを訴えて擦ってほしいと言います。擦り始めると少しだけ眠り、夜中になって私もつられて眠ると手が止まった途端、また痒みが始まります。私が擦っている間は痒み止めが効かないくらいの強い痒みでも、手の心地良さからか、苦痛の表情を浮かべながらも眠ってくれました。

私自身、手の心地良さ、“手当て”を実感した出来事がありました。昨年私自身が手術をした後、どこに体を置いたらいいのかわからないくらいの全身の倦怠感に襲われました。薬を使っても効き目はなく、ただ耐えるしかないと思っていた時、1人の看護師さんが「しんどいね～」と言いながら背中や脚を擦ってくれました。その手の温もりはまるで全てを包み、全てを治してしまうかのような心地良さ。これを“手当て”というのだろう…しんどいねと共感してくれたことも心に安らぎを与えてくれたのではないか、とも思いました。だから娘の擦ってもらいたい気持ちもよく分かります。“手当て”の効能、やさしさ、温もりが伝わるように、早く良くなれ！と願いを込めて擦り続けること1週間、ようやくアレルギー症状は治まってくれました。

四月から娘は大学の3回生です。前回同様、長期入院中のため病院から外出許可をもらって通学します。今学期から酸素ボンベを抱えて吸入をしながら講義を受けなくてはいけませんが、どんな状況でも這ってでも行くという「はちきん娘」の強い意志を大学側も快く受け入れてくれました。

今のうちに・・・元気なうちに・・・体が動くうちに・・・肺が動いてくれるうちに・・・

どこまで突っ走るのか、娘の挑戦は続きます。

はちきんとは・・・
土佐の、サバサバとした元気の良い女性のことです。

名古屋での治療後、後遺症と闘いながら高知県で頑張る
西原さん親子からのメッセージです。

12・1・2・3月はこれつくりました！

12月　クリスマスリース

クリスマス定番のリース！
大人も子供もわくわくしちゃいますね♪

2月　ケーキ

ショートケーキにチョコケーキ、抹茶もあります！
見た目もかわいいケーキたちがいっぱい出来ました♪

1月　お寿司

まぐろ、たまご、いか、サーモン、えび、かっぱに鉄火…
どれも美味しそう！！
お寿司が食べたくなっちゃいます(笑)
みんなの好きなネタは何かな？

3月　チューリップ

色とりどりのチューリップたち！！
プレイルームの中は春満開ですね♪
可愛いチューリップは看護師さんにも人気です！

ボランティアばるーん講習会

12/10、1/21、2/18、3/18

毎月第3日曜日の11時から、「名古屋市市民活動センター」で来月の内容の作品を練習したり、
子ども達と関わり方の勉強をしています。
病院の子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごすため、みんな真剣に取り組んでいます。

「ばるーんで遊ぼう！」
ボランティアに参加して感じたこと・思ったことなど

- とても独創的な子で、一緒に作っているうちに、いろいろできてこちらも楽しかったし、こんなふうに作れるんだ、という発見にもなった。
- 子どもの遊ぶ意欲を支援して、自由に発想できるようにしたいと思った。
- 最初は見ているだけだった子が、他の子がどんどん作っているのを見て、やる気がでてくるようだった。
- 初めての個室の活動で慣れない部分もあったが、お母さんと一緒にドキドキ感が味わえた。
- 2歳ぐらいの男の子の遊ぶ意欲が、お母さんの喜びとなっているのがよくわかった。
- バルーン以外のことでもたくさん雑談して関わることができて、良かった。
- 中学生ぐらいの男の子が作っていた時、作り方が分からなそうだったが、年齢的にあまり手助けされたくないのかと思い、迷った。
- 外国人の親子だったので、説明をするのに苦戦した。お母さんに伝えて、お母さんから子どもさんに伝えるという感じで進めたので、子どもと直接コミュニケーションをとることが少なくなってしまった。
- 12歳の子だったこともあり、最初恥ずかしいようだった。始めは目も合わせられなくて、どう声掛けしたら良いか悩んだが、やっているうちにどんどん話せるようになり、安心した。
- 子どもに今日は何回笑ってもらえるか！を課題としていたが、たくさん笑顔がみれてよかった。
- 小さな子だったので、お母さんがメインで作っていたが、楽しそうなお母さんを見て子どもさんがとても楽しそうだった。やはり大人が楽しいと子どもも楽しいのだなと改めて思った。

ぷくぷくヴォイス　～ボランティアの声

私たち、こんなこと感じながら活動してます

たくさんの笑顔から学んでいます。

愛知淑徳大学2年　大森彩乃

私は大学で言語聴覚士になるために勉強をしています。中でも小児の分野に興味があり何か子どもたちと関わることができるボランティアに参加したいと思っていたところ大学からの紹介でこのぷくぷくと出会いました。
今まで入院生活を送っている子どもたちと関わることもバルーンを作るということもしたことがなく、最初はとても不安でした。子どもたちと上手く関われるかな？上手く作れるかな？そんなことを思っていました。しかし不安はすぐにどこかへ飛んでいきました。
楽しそうにキラキラした笑顔で作っている子、恐々…でもニコニコしながら作っている子、できたバルーンをお母さんに見せてニッコリな子、そんな子どもたちの笑顔を見ている内に私自身も笑顔で楽しみながら活動出来るようになっていました。（プレイルームで準備中に「何作るの？」と言ってワクワク覗いている子を見ていると楽しみにしてくれているのだなと思い私も嬉しくなります。）
そして私自身がまず楽しんで活動すること、このことが大切だと気付きました。まだ参加させていただいて1年も経っていませんが私はぷくぷくばるーんで多くのことを学ばさせてもらっています。ここで学ばさせていただいていることはこれからの自分にとってとても大切なことだと感じています。
今後の目標はバルーン作りを上達させること（まだまだ上手く作れず戸惑ってしまうこともあるので・・・）、もっと子どもたち一人ひとりの状況に合わせて一緒にバルーンを作れるようになることです。そして子どもたちと一緒に私自身も楽しみながら活動を続けていきたいです。

2017年度　ご支援頂いた皆様、ありがとうございました。

【ご寄附】

村松秀城様
西原正子様
庄見弘美様
レモンドロップス様
犬塚由美子様
池田哲也様
三品雅義様
杉野泰宣様
秋田ひとみ様
寺口明日香様
渡邊修大様

【賛助会員　法人】

(有)つボイノリオ商店様
ひだかこどもクリニック様
(有)コボリ様
㈱林電機商会様
名備運輸㈱様
掖済会病院3南病棟様
円銘建設㈱様

【助成金・募金等】

毎日新聞大阪社会事業団様
やんちゃ軍団様
新時代　甚目寺店様

【賛助会員　個人】

池田久里子様
太田友子様
高野智美様
寺田典枝様
村上遥香様
加藤定知様
松山孝治様
塚本綾子様
高坂久美子様
植木康亮様
水野利之様
松永久子様
諏訪淑子様
高柳仁様
坪井直美様
角掛桂子様
杉村良彦様
竹内幹様
伊藤佳子様

【コラボイベント・慰問】

栃春日様
ハピコミクラブ様
ランフォーピース普及協会様
アメリア様
角掛桂子様
御船大輔様
佐々木美和様

【物品他の賛助】

HP・名刺・封筒・ブログデザイン　/　(有)コボリ　原美保子様
イエローレシートキャンペーン　/　イオンナゴヤドーム前店様
/　マックスバリュ千種若宮大通店様

バルーンなど材料費、ボランティア交通費、イベント謝礼などに使わせて頂いています。

ぷくぷくばるーんの活動にご協力ください

みなさん、
ご協力よろしく
お願いします！！

1・　ホスピタルサポーター(ボランティア)として　活動に参加！

小児病棟に入院する子ども達へ、私たちと一緒に楽しい時間と笑顔を届けましょう。
バルーンを作るのも、ボランティア活動も初めて！という方も大歓迎。　詳細はHPをご覧ください
http://pupu-b.jp

2・小児病棟でイベント企画をする！　「コラボイベント」「お母さんスマイルプロジェクト」

コンサート、読み聞かせ、マッサージなど、子ども向け、お母さん向けのイベントを開催してください。

3・思春期の子どもたちに部活動的関わりをする！　「forティーンズプロジェクト」

ギターを教える、歌を教える、イラスト教室をする。。。など中学生以上の子どもたちが楽しみにできる事を提供してください。

4・ぷくぷくサポーター(賛助会員)またはご寄附による資金の支援で活動を見守る！

ホームページから
簡単に入金できる
ようになりました！

活動資金を提供してくださることで、安定した活動ができるようになります。
※主に、ボランティア交通費、バルーンなどの材料費、イベントの謝礼など

●ぷくぷくサポーター（賛助会員）　個人　3000円（一口）
法人　10000円（一口）

●ご寄附　上限・下限はございません。　ぷくぷくつうしんをお届けします。

【入金方法】 ①ホームページから(クレジットカード)　①銀行振込　(三菱東京UFJ銀行、ゆうちょ銀行)　②かざして募金

三菱東京UFJ銀行　金山支店　普0008327　特定非営利活動法人ぷくぷくばるーん　理事長　加藤剛二
ゆうちょ銀行　・00870-5-182196　特定非営利活動法人ぷくぷくばるーん
・店名二一八　店番218　普5587525　特定非営利活動法人ぷくぷくばるーん

ぷくぷく活動履歴　2017年12月～2018年３月

＜12月＞
１日（金）　・・・　名鉄病院
１０日（日）　・・・　ボランティア講習会
つうしん発行作業
運営ミーティング
１２日（火）　・・・　名古屋第一赤十字病院
１６日（土）　・・・　あいち小児医療センター
２１日（木）　・・・　名古屋大学附属病院
２１日（木）　・・・　国立名古屋医療センター
２６日（火）　・・・　名古屋掖済会病院

＜１月＞
９日（火）　・・・　名古屋第一赤十字病院
１２日（金）　・・・　名鉄病院
１３日（土）　・・・　愛知医大病院
１８日（木）　・・・　国立名古屋医療センター
２０日（土）　・・・　あいち小児医療センター
２１日（日）　・・・　ボランティア講習会
運営ミーティング
２３日（火）　・・・　名古屋掖済会病院

＜２月＞
２日（金）　・・・　名鉄病院
１３日（火）　・・・　名古屋第一赤十字病院
１５日（木）　・・・　国立名古屋医療センター
１７日（土）　・・・　あいち小児医療センター
１８日（日）　・・・　全体ミーティング
ボランティア講習会
運営ミーティング
２２日（木）　・・・　名古屋大学附属病院

＜３月＞
１日（木）　・・・　名古屋掖済会病院（２月分）
２日（金）　・・・　名鉄病院
１０日（土）　・・・　愛知医大病院
１０日（土）　・・・　あいち小児医療センター
１３日（火）　・・・　名古屋第一赤十字病院
１５日（木）　・・・　国立名古屋医療センター
１８日（日）　・・・　ボランティア講習会
運営ミーティング
２７日（火）　・・・　名古屋掖済会病院

ぷくぷく活動予定　2018年４月～2018年７月

＜４月＞
６日（金）　・・・　名鉄病院
１０日（火）　・・・　名古屋第一赤十字病院
１５日（日）　・・・　ボランティア講習会
つうしん発行作業
運営ミーティング
１９日（木）　・・・　国立名古屋医療センター
２１日（土）　・・・　あいち小児医療センター
２４日（火）　・・・　名古屋掖済会病院
２６日（木）　・・・　名古屋大学附属病院

＜５月＞
８日（火）　・・・　名古屋第一赤十字病院
１１日（金）　・・・　名鉄病院
１２日（土）　・・・　愛知医大病院
１７日（木）　・・・　国立名古屋医療センター
１９日（土）　・・・　あいち小児医療センター
２０日（日）　・・・　ボランティア講習会
運営ミーティング
２２日（火）　・・・　名古屋掖済会病院

＜６月＞
１日（金）　・・・　名鉄病院
１２日（火）　・・・　名古屋第一赤十字病院
１６日（土）　・・・　あいち小児医療センター
１７日（日）　・・・　全体ミーティング
ボランティア講習会
運営ミーティング
２１日（木）　・・・　国立名古屋医療センター
２６日（火）　・・・　名古屋掖済会病院
２８日（木）　・・・　名古屋大学附属病院

＜７月＞
６日（金）　・・・　名鉄病院
１０日（火）　・・・　名古屋第一赤十字病院
１４日（土）　・・・　愛知医大病院
１５日（日）　・・・　ボランティア講習会
運営ミーティング
１９日（木）　・・・　国立名古屋医療センター
２１日（土）　・・・　あいち小児医療センター
２４日（火）　・・・　名古屋掖済会病院

寄付も会員も
ボランティアも
募集してます

特定非営利活動法人
ぷくぷくばるーん
〒453-0041
名古屋市中村区本陣通5-6-1
地域資源長屋なかむら
TEL:　090-5105-4823
E-mail:　pukupuku@pupu-b.jp
URL :　http://pupu-b.jp//

●ゆうちょ
・00870-5-182196
・店名二一八　店番218
普5587525
(N)ぷくぷくばるーん
●三菱東京UFJ銀行　金山支店
普　0008327
(N)ぷくぷくばるーん
理事長　加藤剛二

編　集　後　記

新年度が始まりましたね。みなさんいかがお過ごしでしょうか？
今年の桜はもうすでに葉桜。桜の季節はなんて短いんでしょ･･･と毎年思うのであります。
昨年お世話になりました皆々様、ありがとうございました。そして、本年度もどうぞぷくぷくを宜しくお願い致します。
さてさて、今年はぷくぷく10周年イベントが11月11日に開催されます。それに向けてスタッフは只今準備中。どんなイベントになるか乞うご期待！夏号には詳細がわかってきますよ。お楽しみに！

祖父江薫

編集委員　大竹由美子、永田あおい
ライター　大竹由美子、祖父江薫、橋本ゆかり、西山貴洋、永田あおい、西原正子
校正　日下部恵美

次回の
ぷくぷくつうしんVol.38夏号は
2018年8月中旬発送予定です。
乞うご期待！！